

## 進藤三郎（しんとうさぶろう）（1/2）

～「愛の人」～

進藤三郎は、明治44年（1911年）、江戸時代から続いている漢方医の13代目として生まれ、東京医学専門学校で勉強し、医者としての道を進みました。

太平洋戦争が始まると、軍医としてインドネシアのスマトラ・ジャワへ行きましたが、戦争中も人間の命を大切にすることを続けました。現地の人々からのもしたわれ、戦争が終わってからも、日本とインドネシアの交流のかけ橋となり、戦争でいがみあっていた2つの国の関係を修復することに大きな貢献をしました。

戦争から帰って進藤家が経営する病院にもどり、外科、精神科医として地域の医療にあたりました。

三郎は、だれからのもしたわれ、おだやかなやさしい人柄で、どこに行っても彼のひざの上を子どもたちがとりっこするほどでした。どの子にもやさしく、わけへだてなく接し、泳げない子どもには泳ぎを教えていました。

三郎は、スポーツも好きで、何にでも興味を示し、熱中しましたが、特にヨットを愛しました。佐賀県ヨット連盟の会長時代、唐津の美しい海を活かしてヨットハーバーをつくらうということになり、物心両面からこの建設に力を注ぎました。若い人たちが、いつも三郎の家に集まり、なかには泊りこんで計画を練っていた人もいるほどで、とても大変な作業でした。いざ建設となるとたくさんお金もかかります。三郎も私財をたくさん提供し、ヨットハーバーは完成しました。

若者がヨットに親しむ姿を見ることを何よりの楽しみと、暇ができると三郎はヨットハーバーに出かけ、若者をやさしい目で見守りました。三郎のそばにいつも若者が集まっていたことからその人柄が、しのばれます。オリンピック選手を唐津から出したいとの思いを持ち、若者を育てたのです。後にヨットで重由美子選手たちがその夢を果たしましたが、三郎はその姿を見ることはできませんでした。でも、どんなに喜んでいただこうでしょう。

～2/2へつづく～

分野 人物

地域 唐津

◎地図・写真・統計資料など



右 進藤 三郎(1911～1992)  
左 トーマスペイン(米)  
当時国際スナイブ協会理事長

(『郷土につくした人々』より)

◎引用・参考文献（出典）

◆『郷土につくした人々』  
～ふるさと唐津の偉人たち～

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ  
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：  
[http://tosyokan.karatsucity.jp/hp/cnts\\_lib/index.html](http://tosyokan.karatsucity.jp/hp/cnts_lib/index.html)

## 進藤三郎（しんとうさぶろう）（2/2）

～「愛の人」～

～1/2からつづく～

また、文学や音楽にも力をそそぎました。オーケストラの「唐津日本フィルの会」を設立し、唐津の地に本格的なオーケストラ演奏が流れました。たくさんの方が、この演奏会に集まりました。皆さんのなかにも聞いたことがある人がいることでしょう。唐津を題材にした「交響詩まつら」は、海外でも演奏され好評を得ています。文学面では、唐津の文学誌「玄海」に恵まれない人を支援する三郎の姿を題材にした小説が寄稿されたことがきっかけとなり、「S氏賞」をつくり、応援しました。この小説は、唐津市近代図書館にありますので、ぜひ一度読んでみてはどうですか。

社会福祉の面では、神戸の「神愛子供ホーム」の理事として、恵まれない子どもを支援し、多久市の「天嶺会しみず園」の精神障害者を支援する会の理事長などもつとめました。いつも自分が表に出ることをきらい、若い人たちを後継者として育てることを大切にしました。

三郎は本当に大きな「愛」の持ち主でした。恵まれない子どもを引きとって、自分の子どもと同じように育てました。身内の方がねたましくなるほど、多くの人を愛し、また多くの人から愛されました。

平成4年、80才で永遠の眠りにつきました。大好きだったヨットに乗って、大好きだった海に、大好きだった人々に送られて、三郎の遺骨は散っていきました。

今、「千の風になって」という歌が流れてきます。三郎は、お墓の中にじっと眠ってなんかいるような人ではないでしょう。きっと好きな所にあちこち出かけて行って若い人たちが生き生きと動きまわる姿を優しい目で見守っているにちがいありません。今も、やさしいまなざしの三郎の姿が目に浮かびます。

分野 人物

地域 唐津

◎地図・写真・統計資料など



佐賀県ヨットハーバー

（『郷土につくした人々』より）

◎引用・参考文献（出典）

◆『郷土につくした人々』  
～ふるさと唐津の偉人たち～

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ  
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：  
[http://tosyokan.karatsucity.jp/hp/cnts\\_lib/index.html](http://tosyokan.karatsucity.jp/hp/cnts_lib/index.html)